

自己評価及び外部評価結果

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	1462000060	事業の開始年月日	平成21年10月1日
		指定年月日	平成21年10月1日
法人名	株式会社ニチイ学館		
事業所名	ニチイケアセンター平塚湘南		
所在地	(〒254-0018) 神奈川県平塚市東真土1-1-77		
サービス種別 定員等	<input type="checkbox"/> 小規模多機能型居宅介護	登録定員	名
	<input checked="" type="checkbox"/> 認知症対応型共同生活介護	通い定員	名
		宿泊定員	名
		定員計	18名
		ユニット数	2ユニット
自己評価作成日	平成26年3月15日	評価結果 市町村受理日	平成25年7月14日

※ 事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先	
----------	--

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

若い職員も多く、固定概念に捉われない柔軟な発想で、御入居者様の日々の暮らしに潤いをもたらしています。

常に御入居者様の可能性を信じ、過剰ではなく、その人らしく生きていく為の自立支援を行なっております。

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	社団法人かながわ福祉サービス振興会		
所在地	神奈川県横浜市中区本町2-10横浜大栄ビル8階		
訪問調査日	平成26年3月31日	評価機関 評価決定日	平成26年6月25日

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点（評価機関記入）】

【事業所の概要】

この事業所は、JR平塚駅からバスで10分程の住宅地にある。付近を幹線道路が通っており車の往来は多いが、周辺にはまだ畑があり、静かな環境である。徒歩圏にスーパーマーケットやコンビニエンスストアがあり、比較的平坦な道のりで日常的に利用者と買い物に出かけている。建物は、鉄筋2階建ての2ユニットである。

【日常的な外出支援】

毎日、午前と午後の2回、希望する利用者と一緒に買い物、散歩に出かけている。自治会の行事では、どんと焼き、盆踊りに参加しており、季節の花見や平塚の七夕まつりにもバス、電車を利用して行っている。今年は、貸し切りバスを利用して八景島シーパラダイスに遠足として行き、大いに楽しんだ。全体行事のほかに、外食や馴染みの場所等への外出を個別支援として行っている。

【運営推進会議の充実】

2か月ごとの開催も定着している。会議メンバーも毎回出席し、特に家族の出席が多い。会議内容は、各種報告の他、事業所の運営に関する質疑応答も多く、事業所に関する理解を深めている。毎回、地域包括支援センターの職員を講師として福祉、介護に関する勉強会を行い、職員も参加している。地域の方の参加を増やし、交流の場となるように努力している。

【地域密着型サービスの外部評価項目の構成】

評価項目の領域	自己評価項目	外部評価項目
I 理念に基づく運営	1 ~ 14	1 ~ 7
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	15 ~ 22	8
III その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	23 ~ 35	9 ~ 13
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	36 ~ 55	14 ~ 20
V アウトカム項目	56 ~ 68	

事業所名	ニチイケアセンター平塚湘南
ユニット名	すずらん

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送りで社是と経営理念を唱和している。 職員は常に念頭においている。	新法人の事業所として発足時から法人の理念のもとにユニット毎の理念を定めている。毎朝、唱和している。法人の理念は玄関に、ユニットごとの理念はユニット入口に掲示し、全員が共有している。ユニット「ひまわり」の理念は改訂を検討中である。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎日近隣のスーパーへお買い物へ御客さまと行っており、店員の方とも顔馴染みの方も出来た	自治会に加入し、自治会の行事、どんど焼き、盆踊り、農協のお祭りに参加し、食材も購入している。真土神社のお神輿が寄ってくれ楽しんでいる。毎月第三日曜日には、施設の見学会を開催している。秋のニチイ祭りには、地域住民が参加している。毎月2回訪問パン屋さんが来訪し、地域の方にも利用してもらって、交流の機会となっている。毎月並びにニチイ祭り時に、ハーモニカボランティアが来訪し、演奏している。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	2ヶ月に1度の運営推進会議している。地域包括支援センターの方に講師として、認知症に関する事等ミニ勉強会を実施して頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	御客様へのサービスの内容や取組み状況の報告・事故報告・活動予定報告等行なっている。地域住民の方々からのアドバイスを頂いている。	2か月に1回の開催が定着し、自治会長、民生委員、地域包括支援センター職員、家族等多くの参加を得ている。会議では、入居状況、行事予定、事故等の報告だけでなく、緊急時の搬送手順、方法を討議したり、地域包括支援センターによる福祉、介護に関する勉強会を開催している。勉強会には、職員や地域住民も参加し、認知症等介護の知識の理解を深めている。以前、会議に出席していた駐在所の方から、認知症で物盗られ妄想のひどい利用者の対応についてアドバイスを受けた。	
5	4	○市町村との連携 市町村担当者とは日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	必要時に行なっている。不明な所は随時確認を行なっている。	市のグループホーム連絡会が2か月に1回開催され、情報交換、事例研究を行っている。また同会主催の研修会に参加している。市の介護保険課には、必要の都度、相談や報告をしている。地域包括支援センターとは、密接な関係を維持して相談し、指導を受けている。	

己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠・ユニットの入口のドアには夜間以外施錠は行っていない。	指針及びマニュアルがある。新入研修時並びに定期的にリスクマネジメント委員会を開催し、事例をもとに研修し徹底を図っている。玄関、各ユニット入口は、日中は施錠していない。毎朝、利用者の服装を写真に撮り、捜索時の資料として管理している。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員全体会議でも勉強会を行っており、虐待に対する認識が出来るように各自意識をしてケアを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	運営推進会議の中で地域包括支援センターの方に勉強会を開催して頂いた。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約時には管理者だけではなく、事務スタッフも同席の元行っており、説明にも時間を掛けている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族様の意見・御要望が聴けるように会社からのアンケートも実施している。アンケートの結果を公表し、改善に努める。	年に2、3回家族会を日曜日に開催し、意見や要望を聞いている。法人として、毎年家族に対してアンケートを実施し、意見、要望を取り上げている。ホームでの様子や連絡事項を「ほほえみ平塚通信」で家族に伝えている。各ユニットのリーダーが把握した要望等は、全体会議で討議し、改善に努めている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案・改善策聴く機会を設けている。 面談ではなかなか言えない職員には普段の会話の中から、常に話す機会を設けている。	職員の意見や要望は、全体会議や個人面談で聞いている。ケア等各委員会があり、活発な意見交換がされている。職員の個人面談は2か月に1回行われている。管理者は、日頃から職員の様子を気にかけて声をかけている。職員の提案で、居間畳のスペース使用方法、整理整頓方法を改善したり、浴室の備品の変更をしている。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は各自向上心を持って働けるように、環境や整備に努めている。キャリアアップ制度もある。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の1人一人の能力を見極め、教育研修委員会を中心に研修の機会を設けている。キャリアアップ制度や外部研修を自ら学べるように紹介もある。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワーキングづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	平塚市内のグループホーム連絡会の事例研究や研修にも参加している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始時から御本人様と御家族様とよく話し合い安心して御入居頂けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御入居前から、御家族様とよく話し合い、不安な事、困っている事をよく知る事で良い関係を築けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	御入居前にしっかりとアセスメントを行ない、御本人や家族の要望や課題を見つけ、今現在必要な支援を見極めた対応を心掛けるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は共に生活する人としての関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御客様御本人だけではなく、御本人と御家族の関係も大切にしている。遠足やホーム内の行事等御家族様に参加して頂いている。御面会の際に近況報告を毎回させていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御本人様にとっての馴染みの人や場所を大切にしており、お友達との外出や御家族様との外出には規制無く行って頂いている。	アセスメント、家族からの話、利用者との会話の中から馴染みの人や場所を把握している。近隣の美容院に出かけたり、入居以前にお世話になったヘルパーと会ったりしている。お盆の時に、要望により迎え火をしたりしている。家族と一緒に墓参りや花火大会に行った人もいる。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	御お客様の個性に合わせ職員が間に入り全ての御客様が良い関係を保てるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	御退去された方でもお手紙やお電話を頂いたりこちらから、お手紙をお送りさせていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	御客様御1人・お1人の希望等を聞きケアを行なっている。	社是、経営理念にある「誠意」並びにユニット理念「お客様の話を傾聴する」などを念頭に置き、日々実践しながら利用者の思いや意向を把握するように努めている。居室担当職員が、聞き取り個別記録表に記入し、カンファレンスで共有している。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御入居前にお話を詳しく聞きし、情報を職員全員が把握出来るように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	定期的にカンファレンスを開催し、御本人様の現在の状態に合わせケアを提供出来るように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画書は期間内であっても課題が出来た時や変更事項などあった場合は緊急にカンファレンスを開催し、常に現状にあった計画書を作成している。	入居時のアセスメントにより暫定計画をつくり、カンファレンスを行い利用者・家族の希望や医師の意見をもとに介護計画を作成している。サービス担当者会議を開催のうえ、プランを変更している。介護計画は、3か月毎にまた、必用の都度見直しをしている。介護計画と介護記録の関連が、分かりにくい面もあるので改善する予定である。	
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録にはケアの内容や変化等記入している。問題点の情報共有を行なって話し合い、ケアプランの見直しを行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	御入居者様御本人や御家族様の意向を踏まえ、状況にあった課題を色々な視点や対応によって個々に支援を行なっている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方のボランティアの方が来て下さっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は、提携医でなく、御入居前からの主治医に継続して診て頂いている方もいらっしゃる。	入居前からの医師に診てもらっている方は、1名で、ほとんどが協力医をかかりつけ医としている。協力医は月2回、訪問看護は週1回あり、24時間対応となっている。歯科医は、その都度訪問している。協力医の紹介で、3名が訪問マッサージを受けている。以前からの医師や、専門医の受診は、原則、家族対応で行っており、受診結果は報告を受け管理日誌に記録して情報を共有している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ちょっとした気付きや変化を管理日誌に記入し、職員の連携で訪問看護さんに報告連絡し、適切なアドバイスを頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはこまめにお見舞いに行き病院関係者との情報交換や相談を行ない早期退院に努めている。又、話し合いにも同席させて頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	個別に話し合いを行なっている。ご家族との方針を共有し、家族会及び運営推進会議で事業所として出来る事を説明している。	重度化した場合における対応に係る指針があり、早期から話し合いの機会を作り、利用者、家族の意向を確認している。事業所として出来ることなど支援体制を充分説明している。医療面での体制整備を行い、看取りを前向きに受け入れて取り組んでいる。これまでに4件の看取りを経験している。	利用者並びに家族の要望に応えられるように引き続き体制の整備強化、並びに職員の意識向上、知識の向上を図るため研修実施等の努力を継続されることを期待します。
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアルに沿って、ユニット毎のカンファ・全体会議で行なっている。今年度は行なえなかったが1年に1回は実施したい。		
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練は実施している。夜間を想定した訓練や非常階段を使った訓練。水消火器を使った訓練を実施。	3月には、夜間想定訓練、9月には消防署立会いの下に消火、通報、避難訓練を実施した。運営推進会議と避難訓練を同日に実施し、会議メンバーが参加出来るようにしている。地域の方にも自治会を通じてお願いしているが、参加者は少ない。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ケア委員会を中心にGHだからこそ気を付けなければいけない、声掛け、対応をチェックし、改善に繋がっている。	ケアスタッフマニュアルに基づき研修を行っている。利用者への声掛けや対応は、馴れ馴れしくならないようにチェックし、ケア委員会で事例を討議し改善につなげている。プライバシー保護や接遇に関するテストで合格点に達しない場合、ユニットリーダー、管理者が改善チェックをし指導することになっている。個人ファイルは、鍵のかかるキャビネットで保管している。パソコンも使用者を限定し、パスワードの変更などセキュリティ確保に努めている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で、御入居者様自身で選択出来る機会を多く持って頂けるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	日常生活は職員側の都合に合わせてではなく、御入居者様のペースで生活して頂けるように努めている。自由な時間・生活を楽しんでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	御入居者様によってはメイクをしたり、マニキュアをしたり、する。訪問理容ではなく、馴染みのヘアサロンに通っている方もいる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	基本は管理栄養士が作ったメニューだが、季節に合わせた食材を使いイベント食として皆さんと一緒に作成から片付け迄行う。	栄養管理士が作成した法人の献立表をもとに、各ユニットの職員が利用者と一緒に、1日2回、近隣のスーパーに買い出しに行き調理している。適宜、季節の食材を取り入れてイベント食としたり、メニューを変更したり、味付けを変えたりしている。お米は、オーナーの知り合いの地域の方から購入している。献立委員会で検食して、アドバイスしている。手伝いのできる方は、調理や下膳等を行っている。職員は、利用者と同席して一緒に食べ、必要な方には介助をしている。外食は多くないが、個別にラーメン店に行くこともある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量は毎日の記録で管理している。基本は管理栄養士作成のメニューを使用している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行なっている。御入居者様に応じた対応を実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	御1人御1人の排泄パターン、生活習慣を把握しトイレにお連れし安易にオムツの使用はしない。	排泄チェック表で個人ごとのパターンを把握し、トイレに誘導している。布パンツを使用している方が4名いるが、おむつ使用の人はいない。トイレは、大きく表示しており、分かりやすい。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の食生活で乳酸菌飲料や食物繊維の豊富な食べ物・や運動ゼ下剤の使用頻度を少なくしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	御本人様の体調により、温泉気分を楽しめる工夫をしている。	入浴の曜日や回数は特に決めていない。利用者個々の希望に合わせて柔軟に対処している。午後の時間帯に、1日3名程度入浴している。入浴の記録表は家族にも開示している。入浴をしたがらない利用者には、言葉かけの工夫や、職員を変えるなどを行っている。浴室には、暖房が設置されている。1階浴室には、シャワーチェアが設置されているが、利用者は少ない	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	眠れない時には無理に寝てもらわず、安眠効果のあるホットミルク等お出ししてリラックスをしてもらう。		
47		○服薬支援 一人ひとりを使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用している薬の目的や服作用・用法が分かるように個人ファイルにまとめている。職員は確認をして服薬対応をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理や掃除など御入居者様のお得意な事、楽しみにしている事を継続して行なって頂く。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物・散歩は1日2回声掛けし、行きたい御入居者様に行って頂く。地域の行事にも参加している。	毎日、午前と午後の2回、希望する利用者と買い物や散歩に出かけている。買い物に行かない利用者は、1階のテラスで日光浴をしている。今年は遠足で八景島シーパラダイスに行った。バスや電車を利用して花見やあやめを見に行ったりしている。ユニット交流会で、運動会を開催して相互交流を行い楽しんでいる。	
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御本人様の希望により、お小遣い金で好きな物を買って頂く。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御本人様宛に郵便物が届くので、お渡ししている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の行事の写真やレクで作った物を貼りだしている。	リビングには、床暖房が設置され、畳のスペースもあり、落ち着いた雰囲気である。共用フロアでは、換気に注意し、日に4回空気の入替えをしている。壁には利用者の習字や塗り絵、季節の行事や外出時の写真がたくさんかざられている。掃除は、毎日、職員が主として行っており、年に2回、業者が床のワックスがけと窓ガラスの清掃等を実施している。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室やソファは自由に使える。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染み診の物をお使いいただけるようお伝えしている。	居室は、エアコン、照明器具、クローゼット、防災カーテンなどが備え付けられている。ベッドやタンスなど馴染みの物を持ち込んでいる。呼び出しブザーやセンサーの設置はない。居室の表札は木製で、自分の居室が分かるように工夫している方もいる。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立した生活を送れるように過剰なケアを行わず、自立支援を心がけている。		

事業所名	ニチイケアセンター平塚湘南
ユニット名	ひまわり

V アウトカム項目			
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1, ほぼ全ての利用者の 2, 利用者の2/3くらいの 3, 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1, 毎日ある 2, 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている (参考項目：36, 37)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている。 (参考項目：28)	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない

63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ全ての家族と 2, 家族の2/3くらいと 3. 家族の1/3くらいと 4. ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)	○	1, ほぼ毎日のように 2, 数日に1回程度ある 3. たまに 4. ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)	○	1, 大いに増えている 2, 少しずつ増えている 3. あまり増えていない 4. 全くいない
66	職員は、生き活きと働けている。 (参考項目：11, 12)	○	1, ほぼ全ての職員が 2, 職員の2/3くらいが 3. 職員の1/3くらいが 4. ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての利用者が 2, 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1, ほぼ全ての家族等が 2, 家族等の2/3くらいが 3. 家族等の1/3くらいが 4. ほとんどいない

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	毎朝の申し送りで社是と経営理念を唱和している。 職員は常に念頭においている。		
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	毎日近隣のスーパーへお買い物へ御客さまと行っており、店員の方とも顔馴染みの方も出来た		
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	2ヶ月に1度の運営推進会議している。地域包括支援センターの方に講師として、認知症に関する事等ミニ勉強会を実施して頂いている。		
4	3	○運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	御客様へのサービスの内容や取組み状況の報告・事故報告・活動予定報告等行なっている。地域住民の方々からのアドバイスを頂いている。		
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くよう取り組んでいる	必要時に行なっている。不明な所は随時確認を行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	玄関の施錠・ユニットの入口のドアには夜間以外施錠は行っていない。		
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	職員全体会議でも勉強会を行っており、虐待に対する認識が出来るように各自意識をしてケアを行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	運営推進会議の中で地域包括支援センターの方に勉強会を開催して頂いた。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	契約・解約時には管理者だけではなく、事務スタッフも同席の元行っており、説明にも時間を掛けている。		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	御家族様の意見・御要望が聴けるように会社からのアンケートも実施している。アンケートの結果を公表し、改善に努める。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員の意見や提案・改善策聴く機会を設けている。 面談ではなかなか言えない職員には普段の会話の中から、常に話す機会を設けている。		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	代表者は各自向上心を持って働けるように、環境や整備に努めている。キャリアアップ制度もある。		
13		○職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	職員の1人一人の能力を見極め、教育研修委員会を中心に研修の機会を設けている。キャリアアップ制度や外部研修を自ら学べるように紹介もある。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	平塚市内のグループホーム連絡会の事例研究や研修にも参加している。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
II 安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	サービス開始時から御本人様と御家族様とよく話し合い安心して御入居頂けるように努めている。		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	御入居前から、御家族様とよく話し合い、不安な事、困っている事をよく知る事で良い関係を築けるように努めている。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	御入居前にしっかりとアセスメントを行ない、御本人や家族の要望や課題を見つけ、今現在必要な支援を見極めた対応を心掛けるように努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	職員は共に生活する人としての関係を築いている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	御客様御本人だけではなく、御本人と御家族の関係も大切にしている。遠足やホーム内の行事等御家族様に参加して頂いている。御面会の際に近況報告を毎回させていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	御本人様にとっての馴染みの人や場所を大切にしており、お友達との外出や御家族様との外出には規制無く行って頂いている。		
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	御お客様の個性に合わせ職員が間に入り全ての御客様が良い関係を保てるように努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用（契約）が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	御退去された方でもお手紙やお電話を頂いたりこちらから、お手紙をお送りさせていただいている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	御客様御1人・お1人の希望等を聞きケアを行なっている。		
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	御入居前にお話を詳しく聞きし、情報を職員全員が把握出来るように努めている。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	定期的カンファレンスえお開催し、御本人様の現在の状態に合わせケアを提供出来るように努めている。		
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	介護計画書は期間内であっても過大が出来た時や変更事項などあった場合は緊急にカンファレンスを開催し、常に現状にあった計画書を作成している。		
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護記録にはケアの内容や変化等記入している。問題点の情報共有を行なって話し合い、ケアプランの見直しを行なっている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	御入居者様御本人や御家族様の意向を踏まえ、状況にあった課題を色々な視点や対応によって個々に支援を行なっている。		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の方のボランティアの方が来て下さっている。		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	受診は、提携医でなく、御入居前からの主治医に継続し、診て頂いている方もいらっしゃる。		
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	ちょっとした気付きや変化を管理日誌に記入し、職員の連携で訪問看護さんに報告連絡し、適切なアドバイスを頂いている。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	入院時にはこまめにお見舞いに行き病院関係者との情報交換や相談を行ない早期退院に努めている。又、話し合いにも同席させて頂いている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	12	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	個別に話し合いを行なっている。ご家族との方針を共有し、家族会及び運営推進会議で事業所として出来る事を説明している。		
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	緊急時のマニュアルに沿って、ユニット毎のカンファ・全体会議で行なっている。今年度は行なえなかったが1年に1回は実施したい。	/	/
35	13	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	避難訓練は実施している。夜間を想定した訓練や非常階段を使った訓練。水消火器を使った訓練を実施。		

自己評価	外部評価	項 目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	ケア委員会を中心にGHだからこそ気を付けなければいけない、声掛け、対応をチェックし、改善に繋げている。		
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	日々の生活の中で、御入居者様自身で選択出来る機会を多く持つて頂けるように努めている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごした いか、希望にそって支援している	日常の生活は職員側の都合に合わせてではなく、御入居者様のペースで生活して頂けるように努めている。自由な時間・生活を楽しんでいる。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	御入居者様によってはメイクをしたり、マニキュアをしたり、する。訪問理容ではなく、馴染みのヘアサロンに通っている方もいる。		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	基本は管理栄養士が作ったメニューだが、季節に合わせた食材を使いイベント食として皆さんと一緒に作成から片付け迄行なう。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるように、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事・水分摂取量は毎日の記録で管理している。基本は管理栄養士作成のメニューを使用している。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後口腔ケアを行なっている。御入居者様に応じた対応を実施している。		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	御1人御1人の排泄パターン、生活習慣を把握しトイレにお連れし安易にオムツの使用はしない。		
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	日々の食生活で乳酸菌飲料や食物繊維の豊富な食べ物・や運動で下剤の使用頻度を少なくしている。		
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	御本人様の体調により、温泉気分を楽しめる工夫をしている。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	眠れない時には無理に寝てもらわず、安眠効果のあるホットミルク等お出ししてリラックスをしてもらう。		
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	服用している薬の目的や服作用・用法が分かるように個人ファイルにまとめている。職員は確認をして服薬対応をしている。		
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	調理や掃除など御入居者様のお得意な事、楽しみにしている事を継続して行なって頂く。		
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	買い物・散歩は1日2回声掛けし、行きたい御入居者様に行って頂く。地域の行事にも参加している。		
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	御本人様の希望により、お小遣い金で好きな物を買って頂く。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	御本人様宛に郵便物が届くので、お渡ししている。		
52	19	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節の行事の写真やレクで作った物を貼りだしている。		
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	和室やソファは自由に使える。		
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	馴染み診の物をお使いいただけるようお伝えしている。		
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	自立した生活を送れるように過剰なケアを行わず、自立支援を心がけている。		

目 標 達 成 計 画

事業所名 ニケイアセンタ-平塚湘南

作成日 2014年 7月 4日

【目標達成計画】

優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目 標	目標達成に向けた具体的な取組み内容	目標達成に要する期間
1	12	ターミナル期の研修の不足	ターミナル研修を年に1回は行う。 ターミナル期(20-25)の研修入居者様向けに15分程度の研修を実施する	全体会議の中で「管理者及び教育・研修委員会」×2111-甲にて行う予定	2014年 12月31日
2					
3					
4					
5					

注) 項目番号欄には、自己評価項目の番号を記入すること。
注) 項目数が足りない場合は、行を追加すること。